

あ と が き

平成8年の中央教育審議会の第一次答申に始まり、次々と打ち出される教育改革の中で、本研究はスタートしました。教育内容の厳選をどのようにしていけばよいのか、家庭や地域社会との連携をいかに図っていくべきなのか、一人一人の子供の能力や適性に合った教育をどのように展開していったらよいのか、完全学校週五日制や国際化、情報化といった社会の変化に対応する学校教育とはどのようなものなのか等々、当面する課題は山積しています。このよ
うな、大きな課題を常に念頭に置き、研究協議会では活発に意見が交わされました。

本研究において、特に重点を置いて取り組んだ内容は、

- 1 生活単元学習を中心に据え、各教科や領域との関連性を踏まえた小学校の教育課程の編成
- 2 具体的指導内容を細かく分析した上での系統性のある中学校の教育課程の編成
- 3 「個別の指導計画」の立て方の検討と分析
- 4 「総合的な学習の時間」や中学校における作業学習の検討と指導事例の収集

の4点です。

これを踏まえて、本教育課程案の小学校年間指導計画には、各月ごとの「単元構想図」を掲載し、より系統的、より組織的に指導が展開できるように工夫しました。一方、中学校年間指導計画には、「各教科の具体的な指導内容の分析表」を掲載し、指導内容が各教科の目標に沿って偏りなく、より効果的に指導できるように配慮しました。また、「個別の指導計画」については、基本的な指導計画の立て方を中心にまとめ、具体的な指導計画例を掲載しました。さらに、特殊学級における「総合的な学習の時間」については、生活単元学習との違いを中心に、できる限り分かりやすく解説をし、小・中学校の代表的事例を一つずつ掲載しました。

まだまだ検討不足で、分析の甘いところもあるかと思いますが、この冊子が特殊学級が設置されている小・中学校にとどまらず、すべての小・中学校や教育機関において、広く活用されることを切に願っています。

おわりに、本務多忙な中、研究協議、資料収集、原稿執筆及び編集にたずさわっていただいた先生方に、深く感謝する次第です。

(主務者)



研究協議会委員

小牧市立小木小学校教諭	舟橋 尚女	半田市立半田小学校教諭	榊原 浩子
江南市立藤里小学校教諭	奥村 寿英	刈谷市立富士松南小学校教諭	吉田 幸和
豊田市立五ヶ丘小学校教諭	桑名 宗治	岡崎市立美合小学校教諭	山中三江子
弥富町立弥富中学校教諭	長谷川孝臣	一宮市立萩原中学校教諭	野村 重代
碧南市立新川中学校教諭	稲垣 尚人	豊橋市立豊城中学校教諭	白井 紹仁
愛知県立佐織養護学校教諭	小川 純子	愛知県立豊川養護学校教諭	須賀 通夫
愛知県立春日井高等養護学校教諭	林 由美子		



顧問

愛知県教育委員会特殊教育課 指導主事 佐藤 耕一



愛知県教育センター

特殊教育部長	寺西 弘治	同第一研究室長	佐藤 賢
同第二研究室長	濱田 照男	同第三研究室長	神道 真典
同研究指導主事	小野田明好	同研究指導主事	梅本 幸平
同嘱託員	鈴木 斗南		(主務者)
同第三研究室長	小林 稔	同研究指導主事	伊藤 恒治

(平成10年度：現蟹江町立学戸小学校校長) (平成10年度：現豊田市立竜神中学校教頭)

特殊学級（知的障害）教育課程案



愛知県教育センター

